

本に親しむ子どもを育てる それぞれの役割と取り組み

市民と行政が協働でサポート!

・子どもたちに読書のすばらしさを知ってもらうため、関係機関が市民（ボランティア）の協力を得ながら進めています。

教育機関

- ☆幼稚園・保育園
- ・おたよりなどの啓発活動
- ☆小学校
- ・朝読書、読書感想画コンクール
- ☆中学校
- ・朝読書、読書イベント
- ・学級文庫や廊下文庫の設置

市立図書館

- ・読み聞かせボランティアや地域文庫の育成と支援
- ・おはなし会の実施
- ・体験司書、読書郵便の実施

北上市 子どもの読書活動 推進委員会

ボランティア

- ☆学校図書ボランティア
- ・各学校での図書整備のお手伝いや読み聞かせ等を行っています。
- ☆読み聞かせボランティア
- ・地域での読み聞かせ活動を行なっています。

行政関係課

- ☆児童家庭課
- ☆健康増進課
- ☆学校教育課
- ☆生涯学習文化課

地域

- ・読書に関係した学習メニューの実施
- ・地域文庫の利用促進
- ・保健機関での啓発活動
- ・教育振興運動との連携・推進

大きくなれよ☆
子どものココロ

中学生 <自分でする読書>

- ・家族みんなで読書に親しみましょう。
- ・読んだ本の感想を話し合しましょう。
- ・新聞などにも興味を持たせましょう。



家庭での 読書習慣づくり

家庭の読書での、子どもの一番の栄養素。子どもたちの心をみんなで育てていくために、子どもの発達段階にあわせた読書活動に取り組んでいきましょう。

小学生 <読む力を育てる>

- ・家族が読書する姿を見せましょう。
- ・家庭内で読書の時間をつくりましょう。
- ・家族で図書館や書店に行きましょう。



乳幼児 <本と遊ぶ>

- ・親子のコミュニケーションづくりに役だてよう。
- ・読み聞かせの習慣をつけましょう。
- ・絵本に触れる機会をつくりましょう。



平成17年度小・中学生読書状況

平成17年度北上市小・中学生の状況
北上市の小・中学生を対象にアンケートをとった結果、右の表のように、中学生になると読書量が減っているのが現実です。

1ヶ月の読書量 (冬休み後の1ヶ月)	1年間図書館利用者
小学生 10.8冊	乳幼児 31,495人
中学生 2.2冊	小学生 61,904人
	中学生 8,548人